

令和7年

駒ヶ根市教育委員会 第16回定例会

会 議 録

駒ヶ根市教育委員会

## 令和7年駒ヶ根市教育委員会 第16回定例会議事日程

告示年月日 令和7年12月12日（金曜日）

開催年月日 令和7年12月23日（火曜日）

開催場所 駒ヶ根市役所 保健センター2階 大会議室

開会時刻 午後1時58分

閉会時刻 午後3時19分

- 1 開会
- 2 教育長報告
- 3 事業報告及び事業計画
  - ・定例会教育委員会 1月27日（火）午後2時00分～保健センター2階 大会議室
- 4 審議案件
  - なし
- 5 協議事項
  - （1）駒ヶ根市立学校教職員組合の要望書に対する回答について
  - （2）駒ヶ根市教育委員会表彰について
- 6 報告事項
  - （1）令和8年4月入学予定者数について【非公開】
  - （2）行事共催等承認申請の専決処分について
- 7 その他
  - （1）令和8年度教育委員会定例会開催日程案について
- 8 閉会

## 出席者

教 育 長	齊 藤	博
教育長職務代理者	唐 澤	浩
委 員	木 下	健 一
委 員	小 池	文 弘

## 欠席者

委 員	山 田	恵 美
-----	-----	-----

## 委員以外で会議に出席した者

教育次長	赤 羽	知 道
社会教育課長	木 下	岳 士
学校教育係長	塩 澤	俊 昭
教育総務係長	倉 田	さおり
教育総務係	赤 羽	あゆみ

傍聴：1人（うち報道機関1人：信濃毎日新聞社）

## 会議のてんまつ

### 議事日程記載のとおり

午後1時58分 開会

#### 1 開会

○齊藤教育長 それでは、どうも、皆さん、こんにちは。(一同「こんにちは」)

会議に先立ちましてですが、本日は山田委員さんが欠席ということです。それから水野課長も欠席ということで、よろしくお願いします。

それでは令和7年駒ヶ根市教育委員会第16回定例会を開会いたします。

よろしくお願いします。(「お願いします」と呼ぶ者あり)

#### 2 教育長報告

○齊藤教育長 2番の教育長報告ということで、私のほうからお願いします。

資料を準備いたしましたので、御覧いただきながらお願いします。

それでは、改めまして、今日はよろしくお願いします。(「お願いします」と呼ぶ者あり)

今年も残すところあと1週間余りということになりました。

昨日は冬至ということで、新聞でも紹介されたりしておりましたが、日の出から日没までの時間をちょっと検索しました。私が確認した資料では、冬至の当日——昨日は9時間44分29秒、今日は9時間44分31秒で、今日は昨日より2秒日が長くなったということです。

ちなみに、冬至の前日——21日は9月44分30秒ということで、冬至より1秒日が長かったということになります。

教員時代に、理科の先生にどのくらい日が長くなるのかと聞いたことがあるのです。そうしたら2秒とか3秒だと話してくれたのを覚えていまして、調べてみたら実際にそうなのだということが分かりました。

また、ちょうど帰っていく頃、駐車場で夜空を見上げたりするのですが、そうすると星座がちょうど眺められるような季節です。ゆっくり星空を見上げる時間はなかなか取れないですが、そういうゆとりをつくり出すことも大事だと思いながら、さっと目が行くというか、探すというか、やっぱりこの時期はオリオン座です。もう大昔、はるか昔に生活していた方々も同じ星空を眺めていたのだと思うと非常に不思議な思いです。

また、自宅にいる子どもたちも、夜は勉強したり、テレビを見たり、ユーチューブを見たりしながら、ぱっと星空を眺めて気分転換してゆっくりとした時間を過ごしている、そんなのがいいなと思って見えています。

では、報告事項ということです。

過日、校長会で教育方針とか大切にしたいこととお話をさせていただきました。就任してすぐというわけにはいかなかったのですが、校長会でこういうふうを考えているという話をさせていただきました。これを皆さんにも共有させていただいて、こういうこととお話ししてありますということを承知しておいていただきたいと思います。

私の教育理念ですが、教育現場で大切にしてきたことはスチューデントファーストということで、初めに子どもがいるという意味です。

それから、全ての教育活動の判断基準は、子どもにとってプラスかマイナスかで教育活動を推進してきました。

それから、最後の10年は管理職として務めたわけですが、ここでは、子どもも、先生も、家族も、地域も、みんなが幸せになればいいと思っていて、「注1」と書いてありますが、次のページの頭にラインボックスで囲みました。

どこからそういう思いがあったかという、詩人であり童話作家の宮澤賢治が、「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」という言葉を残しています。

人は、自分だけではなくて、ほかの人の不幸も悲しむと、ほかの生き物も、さらに宇宙の苦しみも悲しむと、動物がなくなっても悲しむ、そんなイメージです。つまり、共感が人の本性である限り、世界みんなが幸せでない自分もやっぱり幸せを感じない、一人だけ幸せになろうと思ってもそれは無理だと、そんな言葉を残しています。そこからそんな思いがありました。

それから下はずっとお読みいただいて、中ほどよりちょっと上です。

地域の子どもは学校を含む地域で育てることが大前提である。それで、子どもたちの様々な感情とか感覚は幼児期からの生活の中で育まれる。同時に、子どもたちに関わる大人の感覚や感性が知らず知らずのうちに子どもに影響していることも承知のとおりだということです。

だけれども、大人の感覚とか感性は少なからずずれが生じます。このずれを生めるのが対話と連携、特に連携です。ずれを埋めるために連携する。連携は何のためにするのですかといったら、そのずれを埋めるためです。学校と家庭とか、地域と学校とか、全て連携が大事だというのだけれども、ずれを埋めるために連携するのです。

もっと具体的に言うと、家庭や学校、地域と方向性をそろえる、こういう方向でいきましょうとベクトルをそろえることが連携することです。そんな思いでいます。

中でも、学校の先生方が子どもたちに与える影響は本当に計り知れないということで、とにかく子どもたちをうれしい気持ちにする先生がたくさんいれば子どもたちはどんどん変わって、学校も変わっていきます。それだけ学校の先生の存在というのは重要だということをお話しさせていただきました。

したがって、どういうことを目指しているかという、駒ヶ根市の学校で働きたいと、あるいは、転勤してももう一回駒ヶ根市の学校に勤めたいと、こういうふうに思ってくれる先生方を育てたい、そんなふうに思っています。教員の働きがい改革、働きがい高めたいと、これは、教育委員さんも含めて、教育委員会の大切なミッションだと思っています。

同時に、自分の子どもも孫も駒ヶ根市の学校に通わせたい、やはりそういう思いを育てるということも大切だと思っています。

社会はどんどん変わっていきますが、それに合わせてアップデートしていかなきゃいけないけれども、取り巻く環境がいくら変わっても、やはり、思いやりとか感謝とか、いわゆる豊かな人間性の部分と、それを支える健康、体力の部分は、本質的には変わらない、変わってはいけないところかと思えます。

様々な変化への対応、それから適応力、課題解決力が教育委員会や学校には必要だけれども、本質は変わらずに、やはりそこにアプローチしていくものは小さく変わっていないかと社会には対応できない、変わらないために変わる、そういうことだと思っています。

大きく変わらないために小さく小まめに変わる、そんなふうに考えています。少しずつ変えな

がら本質は変えないと、そういうことを大切にしていきたいと思います。

それから、最後はリーダーシップの姿ということで、これは教育委員会、教育長も含めてですが、やはりまずは傾聴すると、子どもの声、先生方や保護者や地域の声を聞いて、その上で教育委員会としてできることをきちんと明らかにして確実に実行する。

そして次に、先を見抜く力——先見です。いろんな角度から、いろんな方向から先を想定し、後から効いてくる石が打てるか、布石といいますが、ここでこういうことをやっておくと後から効いてくるなという石を打てるかどうか先見だと思います。

最後に調整、子どもたちのやりたいを引き出しながら、あるいは認めながら、実現するのに必要な環境を調整していく、こういうことを大事にしていきたい。

こういう内容でお話をさせてもらいましたので、教育委員の皆さんにも御承知おきいただいて、心に留めていただければ幸いに思っています。よろしくお願いします。

裏面へ行きまして、傾聴という話をしましたので、校長時代の研修から私の心に留まっているものを紹介したいと思います。

聞くということに対して私が学んだことですが、「教室の学びと『聴く（聞く）』ということ」ということで、『聴く（聞く）』ことのできる子どもを育てる。」ということでした。

内容は、『聴く（聞く）』という行為が学びの軸になっている。やみくもに自己主張することからはこのような美しさを生まれない。」どのような美しさかということ「他者の言葉を受け取るという寛容の心が、子どもを謙虚にし、心もからだも美しくする。」ということでした。

聴いている子ほどよく考えている

・教室では、これまで「聴く（聞く）」ことよりも「話す」ことを優先してきたきらいがある。とにかく子どもに発言させたい（語らせたい）、そう願って指導すればするほど子どもの意欲が減退するということも無きにしも非ずだった。そしてよく発言する子どもほど学習意欲・態度がよく、しっかり学んでいると受け取られてきた。その考え方にいま疑問符がついている。よく学ぶ子はよく発言する子に限定できるものではなく、むしろよく聴ける子どもではないかという考え方が浸透してきたからである。

こんなことが研修にありました。

「子どもの言葉を引き出すための促し・・・教師の軸足もまた『聴く（聞く）』こと」一般に教師は子どもが何か言うとそれに対して何か言いたくなる。それは教えなきゃいけないという使命感が影響しているのではないかと、対応は子どもの話を引き出そうとしているかどうか、教師の軸足が聞くほうにあるかどうか。

「もうちょっと言ってくれる？」とか、「ふうん。それで？」とか、そんな問いかけというのが大事だということです。

とはいっても、聞くことができること、聞き合う関係や集団をつくることはそう簡単じゃないと、これができるようになるために日々学び続けているのかもしれないということです。

聞くということは一人ひとりを大切にすることであり、寄り添うこととは何かを考えることであり、人権教育である。学校という場こそ全ての制約から解き放たれた公平自由の場であって、聴き合える場としなければいけないと思う。

研修の資料を一部引用させていただきました。

心に留まっていたので御紹介しました。

ちょっと話が長くなって申し訳ございませんでした。

今日も議題がたくさんありますので、よろしくお願いします。

### 3 事業報告及び事業計画

○齊藤教育長 それでは3番へ行きますが、よろしいでしょうか。

事業報告及び事業計画ということで、お願いします。

[赤羽教育次長 事業報告及び事業計画資料により説明]

○赤羽教育次長 それで、3ページへお戻りいただいて、12月18日に市民総体実行委員会が開催されていて、50回の節目を迎えた市民総体ですが、これまで検討委員会として来年度以降どのようにしていくかという話がされている中で、日程的に7月末だと暑くて熱中症予防対策などが大変だということもあるので、来年度からは10月11日に市民総体を開催する、移すというようなことが大枠で決まっておりますので、よろしくお願いします。

それから、あとはネパール交流事業の関係、何をやるのか説明してください。

○塩澤学校教育係長 令和元年の新型コロナのときに中断していました中学生の国際交流事業です。本年度は事業を計画しておったのですが、9月にネパール全土の大規模なデモ——暴動が起きまして、それを受けて市長の出張ができなかったこともあり、こちらの派遣も今年度は中止とさせていただきます。

それで、中止だけではちょっと寂しいというところもありまして、代替りの事業を企画しました。本来ならネパールに行く予定であった行程を少し小さくした形で、事前の学習会ですとか、実際にネパールに行くところを国内でそういったことができないかということで企画しました。

まず、1月6日をスタートとして、これまでの駒ヶ根市とネパール・ポカラ市との友好の歴史であるとか駒ヶ根市の取り組んできた母子保健事業、あとは事前学習としてネパール語講座——語学講座も予定していました。あとはこの事業でネパールに行ったOGに来ていただいて話をさせていただくことを、6日と、もう一日、1月後半での座学を企画しております。

それで、2月に入ったところで、愛知県のほうにネパール人学校があるようでして、その学校との交流、日帰りでの研修旅行を企画しております。

あともう一日は、例年、ネパールから駒ヶ根に訪問団が来まして駒ヶ根市のことや日本の文化などを学んで帰るということで、2月中旬あたりに1週間ほど滞在するのですが、その1日、今年ですと2月11日のようですが、民際交流会という一般市民の方も参加できる日がありまして、そこへの中学生参加を企画しております。

最後に3月でまとめとして、今回の企画の感想や学びを通じて思ったことをまとめてもらいます。

こういうことを1月から3月に企画しております。

対象者は、ネパール派遣に申し込んだ生徒、プラス、追加で希望の生徒がいれば追加募集をかけております。

ネパール事業につきましては以上です。

○赤羽教育次長 ということで、行けなかっただけでは……。何かネパールと交流を進められるものをということで企画していただきました。

以上です。

○齊藤教育長 ありがとうございます。

それでは、ただいまの12月1月の事業報告、事業計画、市民総体やネパールの交流事業も含めて御質問等がありましたら……。いかがでしょうか。

お願いします。

○小池委員 確認ですけれども、あさつての国スポの委員会ですけれども、14時開始でよかったですか。私は16時と勘違いしていました。

○赤羽教育次長 常任委員会が15時です。それで、実行委員会は16時からです。

○小池委員 はい、わかりました。

○齊藤教育長 それでは、そのようにお願いします。

そのほか、いかがですか。——よろしいですか。

ありがとうございます。

#### 4 審議案件

なし

#### 5 協議事項

##### (1) 駒ヶ根市立学校教職員組合の要望書に対する回答について

○齊藤教育長 それでは審議案件のほうに移りますが、本日は審議案件がございませんので、5番の協議事項のほうに進めます。

それでは5の(1)駒ヶ根市立学校教職員組合の要望書に対する回答についてということで、別紙になりますが、事務局のほうからお願いします。

[塩澤学校教育係長 駒ヶ根市立学校教職員組合の要望書資料により説明]

○齊藤教育長 それでは、よろしいですか。進めます。

##### (2) 駒ヶ根市教育委員会表彰について

○齊藤教育長 協議事項の2番、駒ヶ根市教育委員化表彰についてということで、事務局、お願いします。

○倉田教育総務係長 資料5ページをお願いします。

作年度から復活しました駒ヶ根市教育委員会表彰ですけれども、こちらは駒ヶ根市の教育行政に積極的に協力または援助した者及び教育文化の振興に貢献した方に対して表彰を行うものになっておりまして、その選考基準については、5ページの下のところ当てはまる方というのを各学校や関係部署から出していただいて選考する形になっています。

それで、6ページには昨年表彰した4名と4団体の方たちのことを参考までに載せさせていただいています。

今後、1月になりましたら各学校と関係部署に挙げてもらうように依頼しまして、2月初旬頃までに挙げてもらった上で選考し、昨年度と同じですけれども、3月の定例教育委員会のときに表彰ができたかと考えておりますので、よろしくをお願いします。

○齊藤教育長 それでは、御質問等ございましたら……。

お願いします。

○唐澤教育長職務代理者 去年表彰された方でも学校として優秀な成績だったから表彰するとか、そういうことですか。

○倉田教育総務係長 それでいいかと思っています。

○唐澤教育長職務代理者 結構、また今年も頑張っている方も、駒工にしても新体操にしても…

○赤羽教育次長 今度は優勝しましたからね。

○倉田教育総務係長 そのように考えています。

○齊藤教育長 そのほか、いいですか。

○木下委員 すみません。自主申告じゃないですけども、基本は言ってきていただくのでしたか。こちらからでも選出するのでしたか。

○倉田教育総務係長 学校から言ってもらったり関係部署から挙げてもらったりした方について選考していく形にしています。

○木下委員 こちらから探してではなかったのですよね。

○倉田教育総務係長 こちらから探してというか、子ども課で考えるので、各校に投げますし…

○赤羽教育次長 教育委員さんのほうからもこういう方はどうですかと……

○木下委員 推薦があれば……

○赤羽教育次長 あれば、話をいただければ、もちろん……。

○木下委員 ありがとうございます。

○齊藤教育長 そのほか、いかがですか。

それでは、事務局案のほうで進めていきますので、また御協力をよろしくお願いいたします。

協議事項はこれでよろしいですか。

それでは進めます。

## 6 報告事項

○齊藤教育長 報告事項に入ります。

### (1) 令和8年4月入学予定者数について【非公開】

### (2) 行事共催等承認申請の専決処分について

○齊藤教育長 それでは6の(2)行事共催等承認申請の専決処分について、事務局のほうからお願いします。

○倉田教育総務係長 7ページをお願いします。

前回の定例教育委員会から今回までの間に後援・共催申請の上がってきたものについては9件ありまして、全て後援申請です。

それで、全て承認になっておりまして、一番下の「THE NEX CLUB」は新規ですけども、こちらは伊那市の学校教育課で地域おこし協力隊をやっている方から申請が上がってきたものになっております。この方は中学校部活動の地域展開のお仕事をされている方のように。

それで、「THE NEX CLUB」ですけども、スポーツ活動や文化活動を気軽に体験できる週末行うクラブイベントということで、バスケットボール、ダンス、剣道チャンバラ、スノー

ボード、美術を体験できる講座のことらしく、これを1月から3月まで実施したいということで申請が上がってきております。

以上です。

○赤羽教育次長 中学生が対象ですか。

○倉田教育総務係長 こちらは小学5年生から中学3年生までが対象のようです。

初心者向けの内容で実施ということですか。

○齊藤教育長 ありがとうございます。

それでは、今の新規も含めまして、御意見よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○齊藤教育長 それでは、確認させていただきました。ありがとうございます。

報告事項はよろしいですか。お持ちの方、いいですか。

## 7 その他

### (1) 令和8年度教育委員会定例会開催日程案について

○齊藤教育長 では7番のその他に行きます。

令和8年度教育委員会定例会開催日日程案について、事務局から説明をお願いします。

○倉田教育総務係長 8ページをお願いします。

令和8年度の教育委員会定例会・臨時会につきましては、こちらに書いてあるとおりでして、基本的に最終週の火曜日に定例教育委員会を実施する予定になっております。

それで、臨時会については、10月1日、あと3月上旬に人事の関係ということで2回開催予定しております。こちらの予定なんですけど、ほかの予定や日程の都合もありますので確定ではありませんが、このくらいの日程で行いたいということで予定しております。

以上です。

○齊藤教育長 御質問等、よろしいですか。

〔「結構です」と呼ぶ者あり〕

○齊藤教育長 それでは、今のところまだ案ですが、よろしくをお願いします。

その他、連絡をお持ちの方はいらっしゃいますか。——よろしいですか。

## 8 閉会

○齊藤教育長 それでは、ここで定例会を閉じます。

以上をもちまして第16回の定例会を閉じます。

御苦労さまでございました。

午後3時19分 閉会

---

駒ヶ根市教育委員会会議規則第25条の規定によりここに署名する。

令和 年 月 日

駒ヶ根市教育委員会

教 育 長

\_\_\_\_\_

教育長職務代理者

\_\_\_\_\_

委 員

\_\_\_\_\_

委 員

\_\_\_\_\_

委 員

\_\_\_\_\_